

第7回焼津市自治基本条例を考える市民会議・感想

※順不同

平成24年4月22日実施（焼津市役所本庁舎6階603号室）

- ◇最初のスタート時の目的を改めて確認できたことは良かった。又、メンバーの気心が知れました。皆さん協力的でよかった。
- ◇だんだん熱くなってきました。これから日程調整がむずかしくなってくると思いますが、できるだけ参加していきたいと思います。
- ◇初めてで大変むずかしかったです。勉強したいと思います。
- ◇流れがわかりませんでした。
- ◇どの辺まで委員に求められるのか、内容がむずかしくなってきました。（資料作成等）
- ◇問題がある事が理解できて良かったです！
- ◇次回の予定はわかっているが内容が不明でイメージできないので資料に加えてどんな討議がなされるのかが通知と一緒に送付できないだろうか？
- ◇中身が見えてきてだんだんおもしろくなってきました。
- ◇PI 活動の準備で、住民の中に入っている問題点、①条例とは ②自治基本条例とは ③自治基本条例がなぜ必要か などの共通項目において、グループの中で多くの意見が出て良かったと思います。
- ◇色々勉強になりました。もっと焼津を理解するようにしたい。色々問題点も分かりました。
- ◇PI まで本当にできる段階までできているのか、もう少し考慮してから進むべきだと思う。
- ◇・今日は、PI への取組について、不安が多く出たと思う。イメージ的中々難しいと思った。
 - ・この条例の基本的なものを、再確認できた。
- ◇“楽しく”がKey point 楽しく会議をすすめるために、さまざまな工夫をしてらっしゃる行政の姿勢に好感がもてた。
- ◇むずかしい講義の進度の速い部分のようで、一回お休みをいただいたら浦島太郎の気分でした。委員個人の理解を深めることは重要だと思いますが、徒に理論武装するだけなら無意味な気がします。自分はホンバン勝負主義なので。
- ◇発表の時間制限（目標）をしたら。
- ◇全然関心の無い人達を一人でも多くまき込む、興味を、関心をもってもらう。いよいよ難しいけどやりがいのある？ところへきて楽しみです。
- ◇まだ霧の中をさ迷っている感覚、グループ分けによりターゲットが絞れてくれば内容や自分たちの行動が具体化されてくるのではないかと思う。
- ◇むずかしかったです。基本的な部分が理解できていないと本質的な部分にせまっていけないものだなあと思いました。むずかしい…。
- ◇今後のスケジュールについていろいろな意見がでてよかったと思います。

まずはグループ毎、いろいろな話ができる、友好的関係づくりからできるといいなと思います。

楽しい雰囲気は伝わると思います。

◇市民活動団体など、私たちの班のターゲットになるところは、それぞれに何を目的に活動しているのかというところが広い。その理解が大変かと思った。また、それぞれの団体ごとに何を知らせてもらい何を相手側から聞き出すかということを考えていく必要があると思った。

◇そもそも論になって迷路に入った感じです。次回、5月16日に整理できればいいと思います。

◇福祉高齢のメンバーに公募市民が1人も入っていないのは？このメンバーでは行政が作成したと同じことになる。また、PIをこのレベルで行った場合、市民に変なイメージをあたえてしまうのではないかと？

◇各班の構成員の割合が気になった。やはり公募で入っている人が多い所はモチベーションも上がっているように思うが、各団体から選出されている人が多い所は出席者が全員そろそろ所から、始めなくてはならぬ班のモチベーションも下がってしまう。

◇次回については、内部での調整でよいと思いました。委員の皆さん自治基本条例についての理解度がまだ温度差があり、とりあえずはその部分を均一にしていくことが必要ではないかと思えます。

当初のスケジュールと少し変わってきてしまうと思いますが、まずは委員の皆さんが基本なので、少しずつでも進んでいくこと、理解して進めていくことが重要ではないでしょうか。